

2023年度 第1種委員会 事業計画

オホーツク地区サッカー協会 第1種委員会

1. サッカーリーグ

(1) 令和5年度 第42回 北海道学生サッカーリーグ

日 程	2023年5月～10月
会 場	網走スポーツトレーニングフィールド
参 加	未定

(2) 2023年度 第46回 北海道サッカーリーグ 第20回道東ブロックリーグ

日 程	2023年5月14日～9月10日
会 場	網走スポーツトレーニングフィールド 他
参 加	FC.網走

(3) 2023年度 オホーツク地区社会人サッカーリーグ

日 程	2023年5月14日 ～ 10月1日
会 場	北見モイワスポーツワールド ・ 網走スポーツトレーニングフィールド 他
参 加	管内12チーム

2. サッカー大会

(1) 2023年度 第30回 全国クラブチーム選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2023年6月18日(日) 予定
会 場	北見モイワスポーツワールド

※ 全道大会：8月19日(土) ～ 20日(日) 苫小牧地区

(2) 2023年度 第59回 全道社会人サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2023年6月25日(日) 予定
会 場	北見モイワスポーツワールド

※ 全道大会：8月11日(金) ～ 13日(月) 旭川地区

(3) 2023年度 北海道サッカーリーグ 道東ブロックリーグ 入替戦

日 程	2023年10月15日(日)
会 場	網走スポーツトレーニングフィールド

(4) 2023年度 第5回 オホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会

日 程	2023年10月8日(日) 予定
会 場	未定

オホーツク社会人サッカー連盟役員

2022 ～ 2023年度
令和4年度 ～ 令和5年度

役 職	氏 名	所属委員会	担当業務
名誉会長	田中 満朗		
会 長	蝦名 達雄		
副会長	斉藤 隆雄		
	門間 哲也		
	森田 直弘		
理事長	鈴木 紘介		連盟運営総括
副理事長	澤田 篤樹	総務委員会 委員長	事務局長
	木戸 淳也	サッカー運営委員会 委員長	地区リーグ・大会企画
	伊藤 裕之	フットサル運営委員会 委員長	大会企画・強化選抜
常任理事	中田 孝一	サッカー運営委員会	道東リーグ
	林 仁	サッカー運営委員会	地区リーグ
	多田 健太郎	サッカー運営委員会	地区リーグ・大会企画
	水上 佳朗	サッカー運営委員会	大会企画
	佐々木 正伸	サッカー運営委員会	強化選抜
	嘉藤 圭佑	フットサル運営委員会	地区リーグ
	籠谷 輝	フットサル運営委員会	地区リーグ
	長谷川 睦	フットサル運営委員会	大会企画・強化選抜
	野坂 信之	審判委員会 委員長	サッカー
	名和 肅男	審判委員会	フットサル
	三ヶ山 裕右	規律委員会 委員長	
	石垣 正行	規律委員会	
	林 利彦	総務委員会	会計
	糸 拓人	総務委員会	事務局補佐・情報管理
理事	高木 雅史		各事業補佐
	小林 勇人		各事業補佐
監 査	小林 行光		
	山地 博		

※事務局 〒090-0801 北見市春光町4丁目10-21 澤田 篤樹

携帯電話: 090-3892-9617

E-mail: info@asl-a.com

エル

2023 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業計画

【1. 地 区 大 会】

- (1) 2023 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル
日 程：4 月 29 日（土）、5 月 3 日（水）～5 日（金）
会 場：えんがる球技場、北見市内各会場
- (2) 2023 オホーツク地区 FA リーグ
日 程：7 月 15 日（土）～10 月 15 日（日）
会 場：北見市・網走市・紋別市・遠軽町・美幌町他
- (3) 令和 5 年度第 76 回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会
兼第 76 回全道高等学校高校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会
日 程：5 月 24 日（水）～27 日（土）
会 場：えんがる球技場
当番校：紋別高等学校
- (4) 2023 年度第 102 回全国高校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会
日 程：8 月 26 日（土）～27 日（日）/9 月 2 日（土）～3 日（日）
予備日 9 月 9 日（土）
会 場：えんがる球技場
- (5) 令和 5 年度第 53 回高体連オホーツク支部新人サッカー選手権大会
兼北海道高校ユースサッカー新人大会オホーツク支部予選会
日 程：9 月 26 日（火）～28 日（木）
会 場：北見モイワスポーツワールド
- (6) 第35回全道U-18フットサル選手権大会
兼JFA第11回全日本U-18フットサル選手権大会オホーツク地区予選大会
日 程：12月9日（土）
会 場：遠軽町総合体育館

【2. 地区フェスティバル】

- (1) オホーツクサッカーフェスティバル 2023
日 程：8 月 7 日（月）～9 日（水）
会 場：北見市内各会場

【3. 道 東 大 会】

- (1) 高円宮杯 JFA U-18 サッカー2023 ブロックリーグ道東 1 部
日 程：4 月 15 日（土）～8 月 19 日（土）
参加校：網走南ヶ丘高校
- (2) 2023年度第12回東北海道高校ユースサッカー新人大会
日 程：11月4日（土）～5日（日）
主 管：根室地区サッカー協会

【4. 全 道 大 会】

- (1) 令和5年度第76回北海道高等学校サッカー選手権大会
兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選
日 程：6月14日（水）～16日（金） / 20日（火）～21日（水）
会 場：札幌

- (2) 2023年度第102回全国高校サッカー選手権大会北海道大会
日 程：10月20日（金）～23日（月） / 28日（土） / 11月12日（日）
会 場：苫小牧 / 札幌

- (3) 2023年度第35回全道U-17フットサル選手権大会
兼JFA第11回全日本U-18フットサル選手権大会北海道代表決定戦
日 程：未 定
会 場：未 定

2023(令和5)年度 オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 事業計画

○地区大会

期 日	事 業	会 場	担 当
5月13日(土)～9月18日(月) (基本的に土曜日開催)	OKFAカブスリーグ U-15/U-13	管内各地	リーグ運営委員
7月1日(土)・2日(日) 7月8日(土)	オホーツク地区中体連	えんがる球技場	中体連専門委員
11月4日(土)・5日(日)	フットサルU-15	遠軽町総合体育館	フットサル担当者
12月23日(土)・24日(日)	フットサルU-14	紋別スポーツセンター	

○道東ブロック大会・北海道大会日程

期 日	大 会 名	主管地区(開催地)
5月3日(水)～10月7日(土)	道東ブロックカブスリーグU-15/U-13	道東ブロック各地
6月10日(土)～	クラブユース選手権	全道各地
10月21日(土)・22日(日)	道東ブロックカブスリーグ参入戦	音更
8月4日(金)～8月7日(月)	北海道中学校サッカー大会	恵庭
10月7日(土)・8日(日)・9日(月)	地区カブス決勝大会	札幌
10月7日(土)・8日(日)	4地区カブス交流大会	呼人
11月11日(土)・12日(日)	フットサルU-15 道東予選	十勝
12月9日(土)・10日(日)	フットサルU-15 北海道予選	札幌
2024年2月24日(土)・25日(日)	全道フットサルU-14	室蘭

OKFA 16→25プラン 第3種委員会

【2025年に向けたプラン】

リーグ文化の醸成	・カブスリーグの通年化、ゲーム環境向上 ・道東カブス、道カブスリーグへのチーム輩出
女子選手環境整備	・女子選手の登録数増加 ・女子選手のプレー環境の充実
ファミリー 拡大	・管内どこでもサッカーができる環境の整備 ・保護者や地域に愛され、応援される取り組みの充実

【プラン実現のための仮説】

指導者養成

- ・エリアトレセンの活性化
- ・リフレッシュ研修会に参加
- ・3種指導者研修会の実施

指導者交流

- ・中体連一クラブの共存共栄
- ・4種、女子との情報共有
- ・一貫指導体制の充実

地域との連携

- ・外部コーチ等との協力体制強化
- ・少人数でもプレー機会の確保
- ・合同チームでの試合環境の充実

保護者との連携

- ・リスペクトの啓発
- ・暴力根絶の啓発
- ・HPやFBを活かした情報提供

重点課題	現状	今後の取り組み
リーグ文化	リーグ文化定着。土日連戦解消達成。道東カブス、道カブスへの参入。	・全エリアにB級コーチを配置 ・トレセンや研修会に指導者が集い研鑽を積む→リーグのさらなる向上へ
女子選手	女子委員会との連携強化。トレセン活動へのサポートが課題	・女子の日常的練習、試合環境の創出 ・女子トレセンへスタッフ2名派遣
ファミリー拡大	地区協会HPならびにFacebookページにこまめに大会情報配信。リスペクト事例の発信が不足	大会情報発信の継続 各チームでリスペクトの取組推進 リスペクト事例の重点的発信

2023年度 オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会 事業計画

〈大会事業〉

1. U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2023

日程: 2023年4月29日～9月21日

2. U-10サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2023

日程: 2023年4月29日～9月21日

3. フジパンググループPresentsロハパパンCUP第54回全道(U-12)サッカー少年団大会 オホーツク地区予選大会

日程: 7月1日(土)～7月2日(日)

会場: 未定(北見モイワスポーツワールド予定)

4. 第18回オホーツク二建会旗 兼 第19回全道少年団U-10サッカー大会北北海道大会 オホーツク地区予選大会

日程: 6月10日(土)～6月11日(日)

会場: 未定

5. トラック協会杯

第34回全道少年団(U-11)サッカー大会 オホーツク地区予選大会

日程: 8月19日(土)～8月20日(日)

会場: 未定

6. 2023年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼

第20回JA全農杯小学生選抜サッカーIN北海道 オホーツク地区予選大会

日程: 9月30日(土)～10月1日(日)

会場: 未定

7. 第7回オホーツクU-12サッカーフェスティバル

日程: 10月7日(土)～10月8日(日)

会場: えんがる球技場

8. 2023全道フットサル選手権(U-12)オホーツク地区予選大会

日程: 12月9日(土)～12月10日(日)

会場: 紋別市スポーツセンター・滝上町スポーツセンター

9. 第34回全日本U-12フットサル選手権大会

北海道代表決定戦 道東ブロック予選 オホーツク地区予選大会

日程: 2024年1月20日(土)～1月21日(日)

会場: 網走市総合体育館

10. 第6回オホーツクU-12フットサルフェスティバル

日程: 2024年2月17日(土)～2月18日(日)

会場: 未定

〈普及事業〉

開催未定

〈参 考〉

第47回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道東ブロック大会

日程: 9月23日(土)～24日(日)

会場: えんがる競技場(予定)

全道フットサル選手権大会2023 U-12女子の部

日程: 12月16日(土)～17日(日)

会場: 北海道立北見体育センター

2023 年度 オホーツク地区サッカー協会 女子委員会 事業計画

1. 普及事業計画

7 月 9 日(日)	OKFA レディース&ガールズサッカースクール	北見（開催場所未定）
11 月 23 日 (祝木)	JFA レディースフットサルフェスティバル 2023 in オホーツク	道立北見体育センター

OKFA 16→25 プラン 女子選手倍増計画

- オホーツクエリアガールズサッカースクール 小学校 3 年生～4 年生対象

不定期開催

低学年から女子選手でトレーニングを行い女子選手の普及を行う。

- OKFA レディース&ガールズサッカースクール

小学生～大人までのサッカー教室

サッカー教室を開催しサッカー経験者・初心者で楽しくサッカーを経験する。

2 道東ブロック予選

8 月 5 日(土) ～6 日(日)	第 31 回北海道 U-15 女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第 28 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会北海道大会 道東ブロック予選	十勝
-----------------------	---	----

3 全道大会

8 月 19 日(土) ～20 日(日)	新カップ第 2 回北海道女子 8 人制サッカー大会	札幌
9 月 16 日(土) ～18 日(月祝)	第 26 回北海道女子ユース (U-18) サッカー選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ 第 27 回全日本女子ユース (U-18) サッカー選手権大会北海道予選	釧路
9 月 23 日(土) ～24 日(日)	第 31 回北海道 U-15 女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第 28 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会北海道大会 9 月 30 日(土) 決勝戦	旭川
12 月 9 日(土) ～10 日(日)	第 15 回全道女子ユース (U-15) フットサル大会兼 第 14 回全日本女子ユース (U-15) フットサル大会北海道予選	札幌
2024 年 2 月 3 日(土) ～4 日(日)	全道フットサル選手権大会 2023 女子の部	札幌

4 道東圏サッカー協会女子委員会普及事業(新規)

11 月 23 日 (祝木)	第 1 回道東ガールズフットサルフェスティバル 2023 in オホーツク (新規事業の為名称未定)	道立北見体育センター
-------------------	---	------------

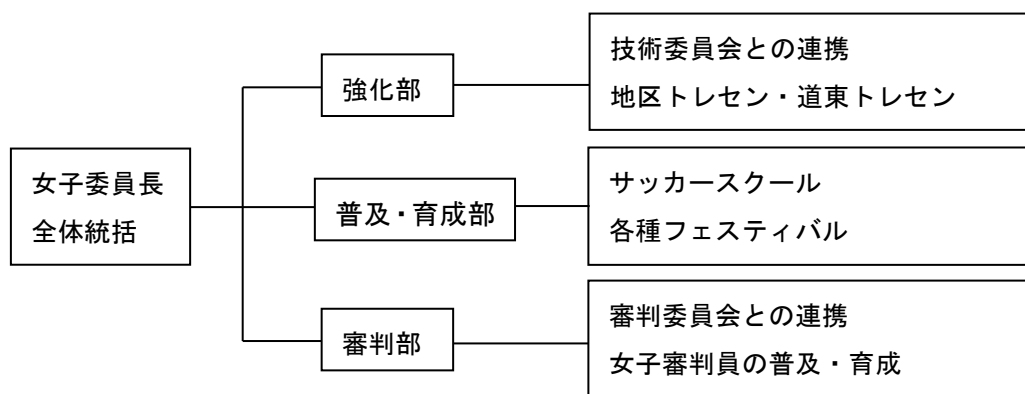
5 北海道サッカー協会女子委員会普及事業

4 月 8 日(土) ～9 日(日)	第 5 回 北海道 U-13 (中学生) 女子 8 人制サッカーフェスティバル	札幌 東雁来公園サッカー場
-----------------------	--	------------------

6 4 種女子関連事業のお知らせ

8 月 5 日(土) ～6 日(日)	JFA ガールズゲーム 2023 北海道 第 11 回熊谷・高瀬杯サッカー大会	空知 栗山
12 月 16 日(土) ～17 日(日)	全道フットサル選手権大会 2023 U-12 女子の部	オホーツク(北見)

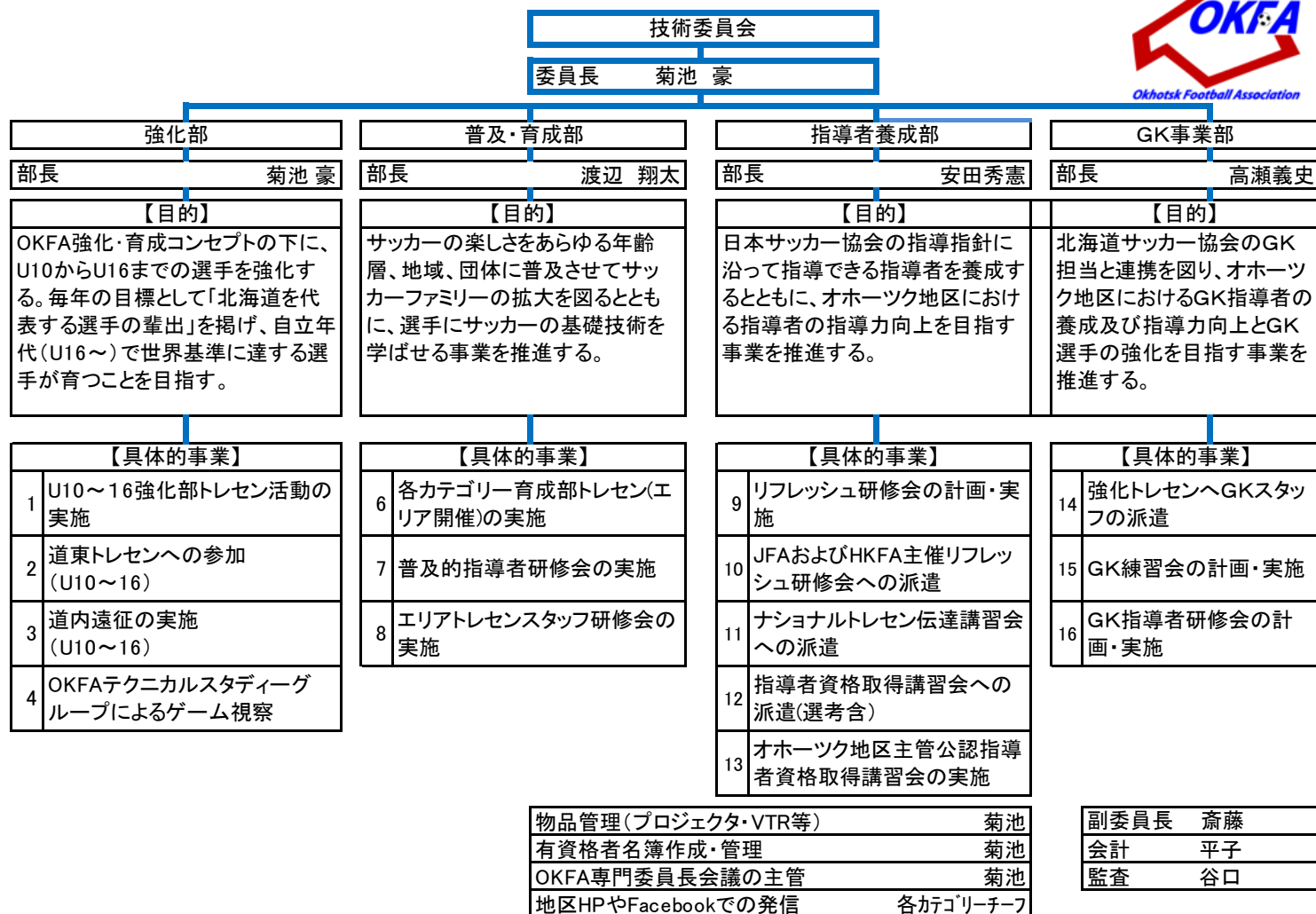
7 組織図



8 オホーツク地区女子チーム (2023 年 3 月末現在)

レファ FC	FC 網走 menina	il sole FC
--------	--------------	------------

2023年度 オホーツク地区サッカー協会 技術委員会事業計画



【令和5年度 重点目標】

16 →25プラン OKFAドリームプロジェクトで掲げた目標と手段の積極的推進

(1) トレセンとチームの両方で強化を図り、各カテゴリーでの道トレ選手輩出

- OKFA強化育成コンセプトをトレセンスタッフだけでなく、チーム指導者とも共有し、指導者を中心として選手の強化を図る。
- 道東および道内外遠征でマッチを数多くこなし、地区トレセンの強化を図る。
- U-10から個人戦術にはたらきかけ、ゲームの中でスキルを発揮できるように取り組む。

(2) 普及・育成活動から強化へつながる事業を推進する

- トレセンデーの定着とスタッフの増員を進め、U10～U16のユース年代のよりきめ細やかな指導が出来る環境を整える。
- GK事業部による普及・育成事業を進めながら、GK選手のプレーの質及びGK指導者の質を向上させる。
- エリアトレセンU11の取組の充実を図る。

(3) 指導技術向上に向けての取り組み

- 10pのリフレッシュ研修会を各チーム指導者、40pをトレセンスタッフの指導技術向上の場として積極的に働きかけ、より多くの指導者の質をいっそう向上させる。
- JFAトレセン認定制度に向けて、公認C級養成講習会の開催及び公認A・B級取得のトライアルへの参加を呼びかけ、各チームへ公認C級取得を働き掛ける。
- 各種年代及び女子の指導者から、北海道・道東トレセンへ参加を呼びかける。

(4) ユース育成の組織的推進

- テクニカルスタディーグループ(TSG)を継続実施し、をオホーツク地区ユース年代のゲームにおける選手の現状と課題を把握し、分析結果をオホーツク地区全チームに伝達する。
- OKFAホームページやFacebookにおいて各種のトレセン活動、テクニカルレポートを公開し情報を共有する。
- 各カテゴリー委員会との情報共有を進め、人材交流をしながら育成の全体像を明らかにしていく。(カレンダー調整・予算の有効活用など)

OKFAユース強化育成コンセプト

オホーツク地区サッカー協会 技術委員会



1. ユース育成年代の定義

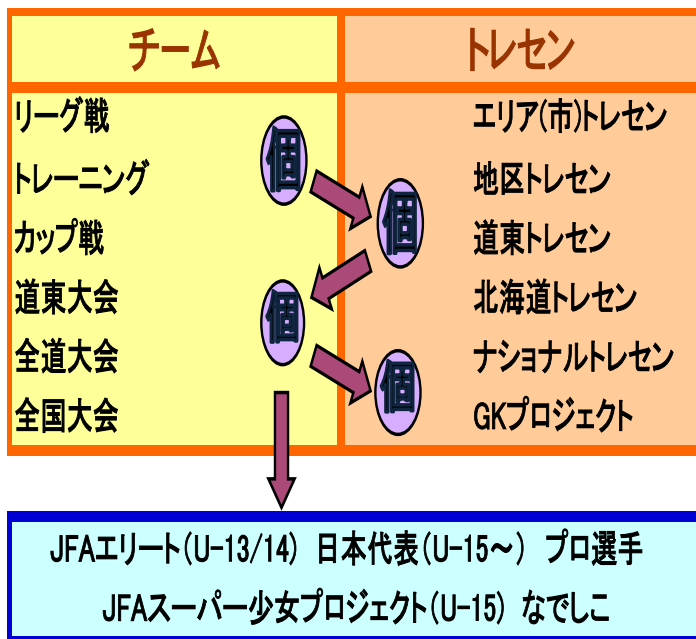
年代	U-10	U-11	U-12	U-13	U-14	U-15	U-16
	ゴールデンエイジ			ポストゴールデンエイジ			クライマックス
ゲーム環境	誰もがフットボーラー(8人制)			ポジションの適性を考える(11人制)			大人のサッカーへ
指導の主眼	個に焦点を当てた育成			チームコンセプトのもとに個を育成			

育成年代を10歳から16歳までと、明確に定義します。つまり小学4年生からは、育成の指導方針に沿って指導していきます。

それぞれの発達段階にあわせて、個に焦点を当てた育成から、徐々にチーム(組織)のコンセプトの下に個が生かされるように指導の主眼を変えていきます。そのために、ゲーム環境をU-8からU-13までは、8人制を主として行い、U-13から14にかけて本格的に11人制に移行していきます。

ただし、このときに注意しなければいけないのは、U-12までは”1対1”だけでいいのかということそうではありません。個の育成を主眼としながらも、他のプレーヤーなど自分を取り巻く環境と関わりながら、フットボーラーとしての技術・戦術・体力を磨いていくということです。

2. チームとトレセンの両輪による指導



日常のトレーニング環境はチームが主体です。チームにおいて、サッカーに関するすべての要素を発達段階を考慮して指導しています。また、当地区は4種年代でも早い段階からリーグ戦を導入し、8人制にも取り組んできました。チームを通して個を育成する環境が徐々に整いつつあります。

トレセンでは、優秀な選手や意欲の高い選手のトレーニング環境を、より高度なものにできるよう取り組んできました。また、これまで世界基準を目指して、地区→道東→北海道→JFAへとつながるステップとしての役割を担い、子どもたちに夢を実現する場を提供してきたつもりです。

チーム・トレセンそれぞれルートは違いますが、個の育成・強化を目指すことに変わりはありません。指導者は、どのような立場であっても「プレーヤーズ・ファースト」の視点に立って、子どもたちの夢の実現の手助けをしていくべきであろうと考えます。

3. オホーツク地区の可能性

子どもの成長は時間がかかります。「この子はこれができない」「この子はだめだ」と、決め付けてしまうのは、選手の可能性を奪うことにつながっていくかもしれません。

当地区出身の選手として、奈良竜樹・高瀬愛実といったプロ選手や全国の強豪大学・高校で活躍している選手がいます。これらの選手は、高い技術や身体能力を持っていたと思いますが、どれほどの指導者が彼らがここまで活躍すると予測していたのでしょうか。広いオホーツク地区を考えると、これほどの選手もしくはこれ以上の選手がこれからも育っていく可能性は十分あると思います。

選手の可能性が開花するのは育成年代を過ぎてからということもあります。指導者が彼らのトレーニング環境・ゲーム環境を整えてあげることで、選手が自立したときに、育成年代で身につけた技術・戦術・体力・精神を駆使して彼らは活躍していくことでしょう。

数年前までは、オホーツク地区から優秀な選手を輩出しつつも、地区選抜全体のレベルは常に低位に位置していました。順位だけでなく、ゲーム内容・選手の技術レベルともに、北海道の中では低いといわざるを得ない状況でし

しかしながら、近年のさまざまな取り組み(指導者養成・リーグ戦改革・選抜チームの遠征回数増・各種年代トレセン指導方針の共有など)により、地区選抜に選ばれる選手の質が徐々に上がってきました。右肩上がりの進歩とまでは行かないまでも、さまざまな人のさまざまな努力が形になりつつあるのは事実です。

4. オホーツク地区の課題～可能性を伸ばす～

課題というと欠点を改善するととらえがちですが、オホーツク地区が持っている可能性をどこまでも伸ばすために、どんなことができるかという視点に立って考えてみたいと思います。

	アドバンテージ	ディスアドバンテージ
トレセン選手	”個”だけを見ると秀逸	組織の中で”個”を生かせない
	選手の輩出	選手の流出
選手数	指導者一人あたりの選手数が少ない	人数が少なくてチームとして成り立たない
	広域だから、多くの選手の中から選抜	近隣にチームがない
指導者	数多くの指導者研修会を実施	みんな忙しい
	指導者研修会に参加し、質の向上	指導者の流出

U-10エリアトレセンが定着し、徐々にこの年代に関わる指導者が増え、指導の質も向上してきています。C級ライセンス取得者も増えてきたり、一人ひとりの意欲の向上も見られます。よりいっそう指導者どうしのネットワークの構築・コンセプトと情報共有を目指していきます。普段はそれぞれの生活圏でできることを考え、実行していきながら、組織的に取り組んでいくことが大切だと考えます。

ただ、左の図のように、すぐには解決できない問題も多く抱えています。学校や地域社会をも巻き込んだ改革に着手しなければならないでしょう。

近年、オホーツク地区トレセンから巣立っていった子どもたちが、社会人となって戻ってきています。選手として活動している場合が多いようですが、コーチとして活動しようという意欲のある方もいます。高いレベルを経験してきた貴重な人材を、現場で指導者として育てていくのも我々の仕事であると考えています。各地域協会・クラブ関係者の方々は、情報網を張り巡らせ、優秀な若い指導者に活躍の場を与えていただきたいと思います。

さまざまな成功例を見ると、情熱と行動力・人づくりと仲間づくりで、夢のようなことでも実現が可能だということがわかります。オホーツク地区としても、サッカーに関わる仲間がユース育成のコンセプトを共有・共感して、あきらめずに努力していけば、目標の達成が可能だと思います。「OKFAドリームプロジェクト2022」をみんなで達成しましょ

OKFAドリームプロジェクト2023

U-16年代以降で日本代表となる選手を複数輩出

U-11年代以降で毎年北海道トレセンクラスの選手の輩出

そのために

4～2種 全チームにC級以上の指導者の登録(常に目指す)

JFA公認サッカー指導者 A・B級コーチ養成講習会に複数の受講生を派遣

毎年、全チームの指導者がリフレッシュ研修会に参加(地区トレセンスタッフは40P・エリアスタッフは10P以上)

エリアトレセンU11/12、U13/14の活動の充実

女子選手の普及・強化のバックアップ体制の整備(OKFA16→25プランより)

各種年代および女子の指導者から、北海道トレセン・道東トレセンの中心となるコーチの複数輩出

2023年度 オホーツク地区サッカー協会 審判委員会 事業計画

強化部会

地区S強化指定審判員研修

4月～10月

育成部会

ユース（中学生）S4新規取得講習会

4月下旬～5月上旬

ユース（高校生）S4新規取得講習会

5月上旬

S3上申・S4新規取得講習会

各カテゴリーで調整して実施

指導者部会

S2・S3・S4研修会 3種 中体連

6月 24日（土）

2種 選手権

8月 26日（土）

S3インストラクター更新講習会

2月 18日（日）

S2更新講習会

2月 18日（日）、3月10日（日）

S3・S4更新講習会

JFAラーニング

フットサル部会

地区F強化指定審判員研修

4月～2月

F3上申・F4新規取得講習会

各カテゴリーで調整して実施

F2・F3・F4研修会 U-15フットサル大会にて

11月 4日（土）

F3インストラクター更新講習会

2月18日（日）

F2更新講習会

2月18日（日）、3月10日（日）

F3・F4更新講習会

JFAラーニング

女子・ユース部会

女性・ユースを対象としたS3上申・S4新規取得講習会（中学生から一般まで幅広く）

女子・ユース審判研修会

3種 中体連

6月 24日（土）

2種 選手権

8月 26日（土）

3種 U-14フットサル 12月 23日（土）

研究開発部会

レポート配信、オホーツク地区協会HPへ掲載

4月～3月

総務部

審判委員会役員会

4月 9日（日）、2月18日（日）

審判委員会部長会・中間決算報告

10月29日（日）

審判委員会総会

2級審判員へ紙面報告

2023 年度 オホーツク地区サッカー協会審判委員会組織図

【基本方針】

レフェリングの質を高め、サッカーの質を高める

(1) 審判員の質の向上

インストラクターが各種大会に行き、審判員の指導・育成を行う。また、他のカテゴリーへの審判活動を参加することにより交流を図るだけでなく、審判技術の幅を持つようにする。ゲーム後のディスカッションを行い、判定基準の統一を図る。

(2) 若手審判員・ユース審判員の発掘・育成・強化

各カテゴリーより推薦を受けた若手審判員の発掘・育成・強化を行い、1級候補の審判員を育てる。また、ユース審判員を育成し、早い段階から審判技術を身につけさせる。

委員長 加藤 厚司
副委員長 工藤 雅人

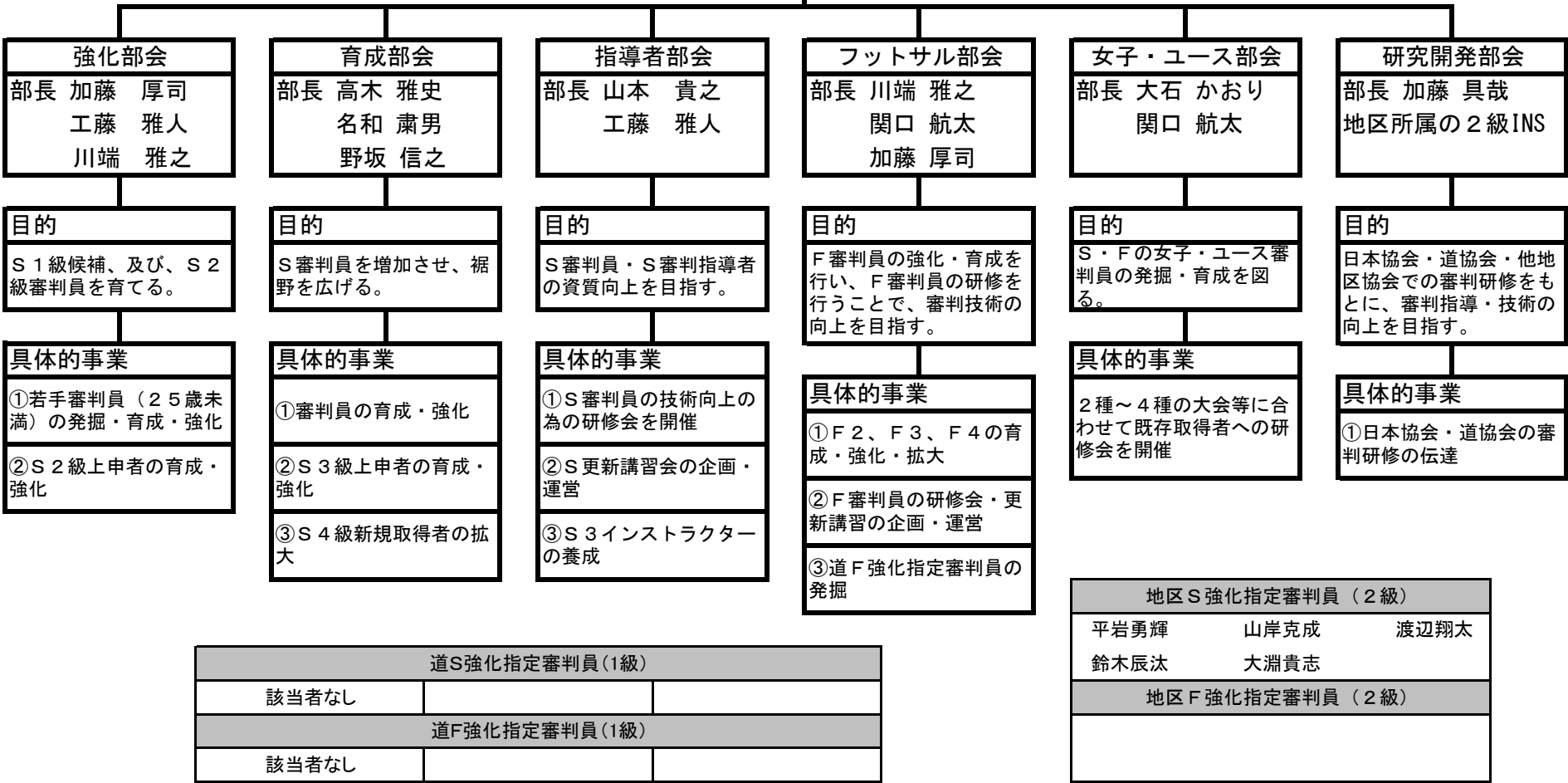
総務部

事務局 岡村 英治
会計 名和 肅男



監査 千田 久幸
監査 川端 雅之

各種大会審判割り振り(カテゴリー代表)	
1 種	野坂 信之
2 種	大石 かおり
3 種	山本 貴之
4 種	岡村 英治
大学	加藤 厚司



令和5年度（2023年度） キッズ委員会事業計画

本年度事業方針

各カテゴリー選手数の減少傾向は大きな課題。サッカーファミリーのすそ野拡大のため、全エリアでのキッズ事業展開ができていないのが現状。

その課題解消のため【事業体制の強化】【指導者育成】を重点課題と位置づけ、JFA事業のも効果的に活用し事業を推進する。

1. 事業の体制の強化

① 委員会の組織化

- 地域協会への担当者の配置
- 4種委員会への担当者配置

② 各カテゴリーとの連携

フェス事業でのスタッフ参加要請

③ 巡回スタッフの拡充

実施時間帯が平日で対応できるスタッフは限られることから専門学校、大学生をスタッフとしての参加を促す。

2. サッカーファミリー拡大

① サッカー教室の開催

親子サッカー教室・キッズサッカー教室の定期的な開催
市町村スポーツ事業への指導者派遣

② 幼稚園・保育園への巡回指導の実施

各地区FAにおける幼稚園等の施設把握及び巡回指導実施に向けた指導者派遣

③ フェス等事業の開催

・JFA事業の実施（キッズフェス及びフットボールデーの実施）

※ フットボールデーは、様々な世代にサッカーを楽しむ機会を設け、ファミリー拡大を目指す事業

・独自キッズフェスの実施

各地域協会実施事業への協力も含めたフェスの実施

④ フットサル委員会・女子委員会との連携

3委員会連携によるJFAフェス等の事業運営協力

3. 指導者育成事業

① キッズリーダー講習会の実施

特に幼稚園への認知度を得るため、保育士を対象にした講習会を実施。

令和5年度 フットサル委員会 事業計画

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1. 事業名 | フットサルフェスティバル 北海道 in オホーツク |
| 開催日 | 2024年 2月 25日(日) |
| 会 場 | 北海道立北見体育センター |

1種関連事業

- | | |
|--------|-------------------------|
| 1. 事業名 | 令和5年度 オホーツク社会人フットサルリーグ |
| 開催日 | 2023年6月～ 2024年3月 |
| 会 場 | 北見市立体育センター・訓子府町スポーツセンター |
-
- | | |
|--------|-----------------------|
| 2. 事業名 | 第13回全道地区選抜大会 |
| 開催期間 | 2023年10月21日(土)～22日(日) |
| 会 場 | 釧路市 |
-
- | | |
|--------|------------------|
| 3. 事業名 | オータムフットサル大会 2023 |
| 開催期間 | 2023年11月19日(日) |
| 会 場 | 北海道立北見体育センター |
-
- | | |
|--------|------------------------------|
| 4. 事業名 | 全日本フットサル選手権 オホーツク地区予選 |
| 開催日 | 2023年11月26日(日) |
| 会 場 | 北海道立北見体育センター or 訓子府町スポーツセンター |
-
- | | |
|--------------|----------------------|
| 開催日 | 全日本フットサル選手権 道東ブロック予選 |
| 2023年 月 日() | |
-
- | | |
|----------------------|-------------------|
| 開催日 | 全日本フットサル選手権 北海道大会 |
| 2024年1月13日(土)～14日(日) | |
| 会 場 | 釧路市 |
-
- | | |
|--------|------------------------------|
| 5. 事業名 | 全道フットサル選手権 一般の部 地区予選 |
| 開催日 | 2024年1月21日(日)or 1月28日(日) |
| 会 場 | 北海道立北見体育センター or 訓子府町スポーツセンター |
-
- | | |
|----------------------|-----------------|
| 開催日 | 全道フットサル選手権 一般の部 |
| 2024年2月24日(土)～25日(日) | |
| 会 場 | 札幌市 |
-
- | | |
|--------|-------------------|
| 6. 事業名 | ウインターフットサル大会 2024 |
| 開催日 | 2024年2月18日(日) |
| 会 場 | 北海道立北見体育センター |

令和5年度 オホーツク地区サッカー協会 情報委員会 事業計画

1. 主な事業

① ファミリー拡大に向けて

- ・ ホームページの管理・運営

主に各カテゴリー事業（大会や普及、トレセン活動など）に関する情報の掲載。
月別延べ訪問数やカテゴリーごとの延べ訪問者数の確認、報告。

- ・ フェイスブックの管理・運営

即日性の高さが求められる情報（大会結果など）の提供。

事業の内容を写真等でより多く掲載。

- ・ ライブ配信

新規購入した iPad を活用して各カテゴリーの大会をライブ配信。

2. 今年度の重点

① 情報の質の向上

- ・ 大会、トレセン活動においては結果だけでなく、様子がわかる写真や報告文を掲載し、利用者に大会情報を伝える。
- ・ ライブ配信により、会場の様子をよりリアルに感じてもらう。

② リス펙ト

- ・ 地域への貢献活動や大会運営への協力などを積極的に掲載する。

③ ホームページやフェイスブック、インスタグラムの利用者拡大の取り組み

- ・ 各地域協会の問い合わせ先を掲載中。
協会ごとにフェイスブックを立ち上げることで情報の混在を防ぐ。
- ・ ファミリー拡大に向けての取り組みを理解、協力、共有。
- ・ 各カテゴリー担当者と掲載方法（フェイスブック）の共有。

④ 情報委員会の会議の実施

- ・ カテゴリーごとに情報委員を設置して、年に1～2回程度、ファミリー拡大を目的とした会議を実施したい。

令和5年度 シニア委員会 事業計画

1. 第16回オホーツク地区シニアサッカーフェスティバルを5月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
2. 第9回オホーツク地区シニアサッカーリーグを開催。
令和5年度は、オホーツクシニアSC、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA、FCイーグルス.GF、遊蹴会、Revival S.C、FCフリースの7チームが参加。
日程についてはオホーツク地区社会人サッカーリーグ及び各種大会と重複しないよう、開催場所についてもリーグ運営部会にて決定する。
※2023年度 道東シニアサッカーリーグO-40が開催されますが、当地区からは各チーム事情により不参加となる。
3. 第7回オホーツク地区シニアサッカーオタムフェスティバルを10月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
4. 第15回オホーツク地区シニアフットサルフェスティバルを11～2月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
5. オホーツク地区シニアO-50 交流戦サッカーフェスティバルの開催。
各チームから50歳以上を招集し、2回程度の開催予定とする。
6. 第31回 全道O-60サッカー大会
開催期間 9月23日（土）～25日（日）
場所 北見モイワスポーツワールド
参加チーム数 16チーム
本大会優勝チームと準優勝チームをJFA第24回全日本O-60サッカー大会の北海道代表とする。
7. 北海道シニアサッカー連盟が主催する各種大会・フェスティバルへの参加。
オホーツク地区社会人サッカー連盟が主催するフットサル大会への参加。

2023年度北見サッカー協会 事業計画

- 第1種
 - 7月16日 第2回北見サッカー協会兼北見ライオンズクラブソサイチ交流大会
 - 3月 第12回北見ふっとさる祭り（未定）
- 第2種
 - 7月～10月 市内高校リーグ（2023OKFA 地区リーグを兼ねて実施）
- 第3種・技術
 - 2月～3月 北見エリアウィンターリーグ U-14
 - 月1回 サッカー教室（中学校にサッカー部が無い生徒対象）
- 第4種
 - 9月 山本杯（U-12）、鴨下杯（U-10）
 - 10月 明治安田生命杯（U-9）
※大会と合わせてサッカークリニックを実施する予定
 - 2月 塩別つるつる温泉杯(U-9)
- 女子
 - 【オホーツク地区女子委員会事業の運営協力】
 - 7月 OKFA 女子サッカースクール（対象：小学生～成人）
 - 11月23日 JFA レディースフットサルフェスティバル 道立にて開催予定
 - 【道東圏サッカー協会女子事業運営協力】
 - 11月23日 道東ブロックガールズフットサルフェスティバル（名称仮）
道立にて開催予定
- 審判
 - ・ 審判講習会実施（開催時期調整中）
 - ・ 地区協会大会へ審判協力
- 協会事業
 - 9月または10月 モイワスポーツワールド清掃活動

2023年度 網走市サッカー協会 事業計画

1. 4月 網走市サッカー協会 総会を予定。
2. 7月～8月 WEリーグチームの網走キャンプへの協力。
3. 9月10日（日） マクドナルド杯争奪第36回オホーツクジュニアカップサッカーin2023を後援。
会場は網走スポーツ・トレーニングフィールドを予定。
4種小学生が対象

2023 年度 紋別サッカー協会 事業計画（案）

1 主催事業

- ・ 4月 紋別サッカー協会役員会・総会
- ・ 11 月頃 紋別サッカー協会長杯フットサル・ジュニアサッカー大会
対象 幼児～小学生

2 主管・後援事業

- ・ コンサドーレサッカー教室、コンサドーレ選手交流会（後援）
- ・ 2月 市民フットサル大会（主管） 対象 幼児・小学生・一般（中学生以上）

※各種事業を通じサッカーファミリー拡大を図る。

3 助成事業

協会加盟チーム（1 種～4 種）への活動助成金交付

4 (株)北海道コンサドーレとの連携

「紋別市と(株)コンサドーレとの相互交流に関する協定」に基づき、スポーツを通じた相互交流関係の推進のため、紋別サッカー協会も連携を図る。

○主な取り組み

- ・ 指導者派遣に伴う市内各チームへの指導
- ・ 未就学児、小学生へのサッカー教室開催（巡回含む）、体づくり教室等のサポート
- ・ 市、協会、コンサドーレ紋別後援会と一体となったサポート体制の構築

5 その他

- ・ 指導者会議の開催（1～4種合同）
- ・ 室内ロングパイル人工芝体育館（紋別市落石アリーナ）オープンに伴う、利用調整会議の開催
- ・ 紋別市中学部活動活動検討協議会において市内部活動の持続可能な方策を協議。
- ・ 運動公園芝生広場改修後の利活用法の検討

○ OKFA16→25プラン

① 施設の充実 令和4年度紋別市落石アリーナがオープン。

全面ロングパイル人工芝を敷設することで、冬期間も屋外に近い環境でトレーニングが可能となった。

今後は、広く市民が楽しめるサッカーイベントの創出を検討したい。

また、冬期間のエリアトレセン等の誘致を進めたい。

運動公園内芝生広場の改修（R5）に伴い、サッカーでの利活用を高めるための協議を教育委員会と実施。

② 女子選手倍増計画

4種年代では複数の女子選手が在籍するが、中学進学を機に大半はサッカーを辞めてしまう。フェスティバルや女子トレセン等、女子だけで集まる機会には積極的に参加しているので、近隣協会、クラブとの連携のもとに女子選手の活躍の場を確保する。

③ リーグ文化の醸造

各年代ともリーグ戦の定着により、試合数の確保が図られている。

一方、試合の増加に伴い、試合の趣旨・意図を消化しきれないまま試合を単にこなしているだけに陥る可能性がある。

また、試合の消化が目的となつては、サッカー本来の楽しさが埋没する可能性がある。

（支える・運営する方も楽しめているか）

試合数確保に加え、女子・社会人も含め楽しむサッカーができる環境を種別協会の枠を超え協議すべきでは。

④ みんなつながっている

～サッカーを「する人」・「見る人」・「支える人」全てのジャンルでサッカーファミリーの確保を図る～

コロナ禍によりサッカーから離れてしまった人、サッカーを選択しない人も少なくないことから、その人たちに戻ってきてもらうにもかなりのエネルギーが必要と考える。継続した活動が難しくなっており、モチベーションの維持のためにも様々な形での連携は必要。

初心者や新規参入チームの加入、育成を促進する環境づくりがより一層大事になってくると思います。

チーム数減→合併・集約が進むと次第に経験者しか残らず、初心者がチャレンジしにくい環境になり、更なる競技者減に拍車がかかることは、他の競技でも前例があるところだ。

サッカーだけで言えば、この数十年拡大路線を歩んできていたので、このような事例は経験が少なく、また地方から先に進行してしまうことから、今からでも、全国レベルでテコ入れを要請する必要があると思います。

また、中学部活動の今後についても、学校サイドだけの問題ではなく、地域の問題として捉えていかなければなりません。

マスコミが言うほど地域の力も無限ではないが、良い知恵を絞っていきたいです。

2023年度遠軽サッカー協会 事業計画

- 6月10日(土) 第8回 遠軽信用金庫杯 U-10 サッカー大会
対象 4年生以下
場所 えんがる球技場
- 8月5日(土) 第18回 がんぼうカップサッカー大会
対象 5年生以下
場所 えんがる球技場
- 9月16日(土) 第31回 遠軽サッカー協会親睦交流会
場所 遠軽町芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)
- 9月23日(土) 第15回 遠軽キッズサッカーフェスティバル
対象 幼稚園年長児、1・2年生、幼稚園年長児及び1・2年生の母親
場所 えんがる球技場
- 10月15日(日) 第29回 遠軽サッカー協会会長杯中学校サッカー大会
場所 えんがる球技場
- 3月2日(土) 第16回(令和5年度) 遠軽キッズサッカーフェスティバル
対象 幼稚園年長児
場所 遠軽町総合体育館
- 3月3日(日) 第40回 遠軽室内サッカー大会
対象 中学生以上
場所 遠軽町総合体育館
- ※ 4月～3月 少年団指導援助事業
対象 小学校3年生～6年生
- ※ 4月～3月 キッズ指導事業
対象 小学校1年生・2年生

2023年度 斜里サッカー協会 事業計画(案)

[illegible]

2023年度 斜里サッカー協会 事業計画（案）

OKFA 16→25プラン達成に向けて

重点課題	計 画	実 行	検 証	修 正	担 当
①リーグ文化の醸成	・1種登録チームの復活（クラブ化検討） ・サッカー、フットサルフェスを開催				成 田 成 田
②女子選手倍増計画	・ なでしこひろばへの参加 ・ 女子フェスティバルへの参加 ・ 親子サッカーの定期開催				横 山
③施設の充実	・ 斜里町に施設整備（オールシーズン利用可）の要望をあげる ・ 陸上競技場の施設管理を斜里サッカー協会で行う				門 間 門 間
④みんなつながっている	・ 各カテゴリーに情報担当者を配置し、SNS等を利用して積極的に情報発信を行う				各担当

OKFA 16→25プラン達成に向けたスケジュール

斜里協会 総会	P	各プラン承認	R 4	5 月中～下旬
プラン承認後	D	実 行	R 4	シーズン
斜里協会 役員会	C	プラン検証	R 5	3 月初旬

令和5年度 美幌町サッカー協会 事業計画

月 日	事 業 内 容	備 考
令和5年		
5月～	キッズサッカー教室	幼稚園児、小学生低学年対象 あさひ広場公園多目的運動広場（予定）
11月～	キッズサッカー教室	幼稚園児、小学生低学年対象 美幌町サニーセンター（予定）
5月～	小学生サッカー教室	小学生低学年対象 あさひ広場公園多目的運動広場（予定）
7月16日	第38回北網地区 社明杯少年サッカー大会 兼 第12回 ライオンズクラブカップサッカー大会	あさひ広場公園多目的運動広場 美幌中学校グラウンド（予定）
11月12日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (1st)	美幌町サニーセンター開催（予定）
令和6年		
2月 4日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (2nd)	美幌町サニーセンター開催（予定）

2023 年 度 会 計 予 算 (案)

オホーツク地区サッカー協会

収 入

項 目	前々年度決算	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
繰越金	879,654	1,076,939	796,166	△ 280,773	
登録料	1,841,800	1,886,400	1,800,000	△ 86,400	オホーツク地区サッカー協会 登録料
道協会交付金	432,500	423,400	825,400	402,000	R4(公財)北海道サッカー協会交付金 R5(公財)北海道サッカー協会交付金
道協会特別補助金	990,000	990,000	990,000	0	地区主催大会支援59万 地区トレセン支援20万 事務局支援費20万
その他	1,117,000	151,000	150,000	△ 1,000	広告料(さかきばら泌尿器科100,000) 広告料(第一工業50,000)
利息	24	23	434	411	利息等
合計	5,260,978	4,527,762	4,562,000	34,238	

支 出

項 目	前々年度決算	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
事務局費	19,720	94,841	90,000	△ 4,841	事務用品 15,000 印刷発注 65,000 その他 10,000
通信費	11,293	18,591	110,000	91,409	送料 20,000 振込手数料 20,000 インターネット回線 70,000
事業費	350,000	500,000	430,000	△ 70,000	道東リーグ補助 50,000 社会人連盟補助 180,000 2種FAリーグ補助 40,000 全道大会補助 100,000 地域協会事業補助 60,000
事業委員会費	1,790,000	1,790,000	1,950,000	160,000	第1種 10,000 第2種 80,000 第3種 60,000 第4種 60,000 審判 10,000 技術 1,370,000 フットサル 30,000 女子 50,000 シニア 30,000 キッズ 10,000 情報 240,000
OKFA16→25 プラン事業	790,000	790,000	790,000	0	
旅費	42,500	58,860	70,000	11,140	常任理事会 50,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 役員会議 5,000 その他 10,000
会議費	20,748	28,060	40,000	11,940	常任理事会 20,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 その他・役員会議 15,000
負担金	0	0	37,500	37,500	道東圏サッカー協会負担金
積立金	50,000	50,000	50,000	0	PC購入積立金
理事長手当	0	0	60,000	60,000	60,000
事務局手当	140,000	140,000	140,000	0	事務局長 60,000 事務局次長 30,000 会計 50,000
記念費	9,620	0	50,000	50,000	表彰者・功労者
慶弔費	0	12,492	10,000	△ 2,492	弔電・祝儀
予備費	1,125,958	248,752	734,500	485,748	
合計	4,349,839	3,731,596	4,562,000	830,404	

オホーツク地区サッカー協会規約

第 一 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この会はオホーツク地区サッカー協会（以下、「本協会」という。）と称する。

(目 的)

第 2 条 本協会は、公益財団法人日本サッカー協会及び公益財団法人北海道サッカー協会（以下、「上部協会」という。）に加盟し、オホーツク管内全域のサッカー界を統括し、サッカー競技の普及発展を計り、スポーツ振興と心身の健康な発達に寄与することを目的とする。

(構成員)

第 3 条 本協会は、本協会に登録したチームのメンバー及び本協会の目的に賛同する者（以下、「構成員」という。）をもって構成する。

(規約の目的)

第 4 条 本協会の組織運営は、この規約に基づいて行なう。

(事務所)

第 5 条 本協会の事務所は、北見市におく。

第 二 章 事 業

(事 業)

第 6 条 本協会は、第 2 条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- (1) オホーツク地区サッカー競技大会並びに、全道大会の予選大会の主催、主管又は後援。
- (2) オホーツク地区を代表する選手団の選考及び認可。
- (3) サッカー親善交歓試合等の開催。
- (4) サッカー競技技術の研修会、講習会の開催。
- (5) サッカー競技審判の研修会、講習会の開催及び 2 級更新、3 級、4 級審判員の公認。
- (6) その他目的を達成するための事業及び重要事項の処理。

第 三 章 役 員

(役 員)

第 7 条 本協会に次の役員をおく。

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 会 長 | 1 名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 理事長 | 1 名 |
| (4) 副理事長 | 若干名 |
| (5) 常任理事 | 若干名 |
| (6) 会計監査 | 2 名 |
| (7) 評 議 員 | 若干名 |

(会長等の選出)

第 8 条 会長、副会長、理事長および副理事長は、総会において選出する。ただし、欠員が生じた場合は常任理事会において選出する。

- 2 常任理事及び会計監査は構成員から選出するほか、次により選出する。ただし、必要に応じて構成員以外から選出することができる。

- (1) 専門委員会からの選出

各専門委員会の委員長を常任理事とする。ただし、審判委員会および技術委員

会からは、委員長を含む2名を常任理事とする。

(2) 地域協会からの選出

各地域協会の理事長又は同程度の職務に関わる者1名を、常任理事とする。ただし、北見サッカー協会からは、2名の常任理事とする。

3 評議員は、各地域協会の会長とする。ただし、その他の役員の職にある者を除く。

4 常任理事、会計監査及び評議員は、総会の議を経て会長が委嘱する。

(会長等の職務)

第9条 会長は、本協会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときはその職務を代行する。

(理事長等の職務)

第10条 理事長は、日常の全般的業務を処理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長が事故あるときはその職務を代行する。

(常任理事の職務)

第11条 常任理事は、分担業務を処理する。

(会計監査の職務)

第12条 会計監査は、本協会の会計業務を監査する。

2 会計監査に関する処務事項は、別に定める。

(役員の任期)

第13条 役員の任期は、4月1日から翌々年の3月31日までの2年とする。

2 欠員等で補充又は増員により選任された役員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者又は現任者の残任期間とする。

(名誉会長)

第14条 本協会に名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、会長の相談に応じる。

第 四 章 会 議

(会議の開催)

第15条 本協会に次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任理事会

(3) その他会長が必要と認めた会議

(総会の開催)

第16条 総会は、毎年4月に開催するほか、次の場合に開催することができる。

(1) 本協会構成員の2分の1以上の連名を持って開催要求があるとき。

(2) 会長が必要と認めたとき。

(総会の議決事項)

第17条 総会は、次に掲げる事項を審議決定する。

(1) 規約、規定の制定、改廃

(2) 役員の選出

(3) 事業計画の樹立

(4) 予算、決算の承認

(5) その他重要事項の決定

(総会の成立、議決数及び議長)

第18条 総会は、本協会に登録した加盟登録団体代表者（以下、「代表者」という。）の3分の2の出席をもって成立し、出席者の2分の1以上の同意をもって議決する。

2 総会に出席できない代表者は、委任状をもって議長に一任し、出席に代えることができる。

3 総会の議長は、会長が務めるものとする。

(常任理事会の構成と議長)

第19条 常任理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長及び常任理事をもって構成する。

- ただし、必要に応じて会計監査、評議員その他の者を出席させることができる。
- 2 常任理事会の議長は、理事長が務めるものとする。
 - 3 常任理事会は、総会の議決事項、総会より委任された事項及び緊急事項を処理する。
 - 4 処理事項はすべて総会に報告し、承認を求めなければならない。

(その他の会議)

第 20 条 本協会は、必要により次の会議を開催することとする。

(1) 役員選考委員会

役員選考委員会は、役員改選時に召集し、選考役員は、会長、副会長、理事長、副理事長とする。

役員選考委員会の構成は、常任理事若干名とする。

(2) 専門委員会委員長会議

(3) 地域協会代表者会議

第 五 章 専門委員会

(設 置)

第 21 条 本協会は、事業の必要に応じて専門委員会（以下、「委員会」という。）を設置できる。

(構 成)

第 22 条 委員会は、本協会役員及び構成員で組織する他に、必要に応じて該当の専門家をその委員会に加えることができる。

(委員会の規定)

第 23 条 委員会は、その実施運営上の規定を別に定めることができる。

(委員長の選出)

第 24 条 委員会は、役員改選時に指定された期日までに委員長案を会長に報告する。

2 会長は、その報告を受けて適当と判断した場合は承認する。委員長が交代する場合も、同様とする。

(委員長の任期)

第 26 条 委員長の任期は、原則、最長 3 期 6 年までとする。6 年を超える場合は常任理事会で協議し承認を得るものとする。ただし、審判委員会および技術委員会の委員長については、1 期 2 年ごとに会長の承認を受ける。

(常任理事会の出席)

第 27 条 常任理事会において、委員長等の常任理事が出席できない場合は、当該専門委員会からの代理出席を義務付ける。

第 六 章 加盟登録団体

(加盟登録団体の定義)

第 28 条 加盟登録団体とは、日本サッカー協会が制定したサッカー競技規則等によりサッカー競技等を行う団体で、本協会を通じて上部協会に加盟登録を承認されたものをいう。

(加盟登録方法)

第 29 条 本協会を通して上部協会に加盟登録しようとする団体は、別に定める登録用紙に必要事項を記入し、会費を添え、本協会事務局に毎年 4 月末日までに登録しなければならない。

(未登録団体)

第 30 条 本協会に未登録の団体は、原則として本協会および上部協会が開催する公式行事に参加することができない。

(登録団体の種別)

第 31 条 本協会の加盟登録団体の種別は、日本サッカー協会基本規定第 5 0 条第 1 項の規定による。

2 前項に定める年齢は、日本サッカー協会基本規定第50条第2項の規定による。

(競技規則)

第32条 競技規則は、全て日本サッカー協会制定の競技規則による。

(登録の変更)

第33条 加盟登録後、その内容に変更が生じた場合は、その都度速やかに本協会に届け出なければならない。

(団体登録の追加)

第34条 年度途中に新たに団体を結成して本協会及び上部協会（以下、「本協会等」という。）が開催する大会等に参加する団体は、大会等の規定期日までに本協会等の登録手続きをしなければならない。

(登録団体の審判員)

第35条 加盟登録団体は、3級以上の登録審判員1名をその団体に所属させることを原則とする。

第七章 地域・市町村サッカー協会

(地域協会)

第36条 本協会は、オホーツク管内の各地域及び各市町村に組織されるサッカー協会（以下、「地域協会」という。）と連帯を図り、互いに協力して第6条の事業を行う。

第八章 評議員会

(評議員会の設置)

第37条 本協会の事業を円滑に進めるために、評議員会を置く。

(組織)

第38条 評議員会は、評議員、会長、副会長、理事長、地域協会の理事長等で組織する。

(会議)

第39条 評議員会の会議は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 評議員会は、本協会に意見を述べることができる。

第九章 連盟・特別委員会等

(連盟・特別委員会)

第40条 本協会は、必要に応じて連盟・特別委員会等を置くことができる。

第十章 会計

(会計)

第41条 本協会の経費は、次の収入をもってあてる。

- (1) 会費（登録金および負担金）
- (2) 寄付金
- (3) その他

(会計年度)

第42条 本協会の会計年度は、毎年4月に始まり、翌年3月31日に終わることを原則とする。

第十一章 事務局

(事務局)

第43条 本協会に、その業務を処理するため事務局を設置し、事務局には、事務局長、事務局次長及び会計を置くことができる。

- 2 事務局長、事務局次長及び会計は、常任理事会の議を経て役員の中から選出し、総会で承認を得なければならない。
- 3 事務局は、本協会の登録事務、庶務、会計、上部協会及び他団体との連絡調整及びその他必要事項の処理を行う。

付 則

1. この規約は昭和 54 年 4 月 18 日より施行する。
2. この規約の一部改正は昭和 56 年 4 月 16 日より施行する。
3. この規約の一部改正は昭和 62 年 4 月 26 日より施行する。
4. この規約の一部改正は平成 5 年 4 月 18 日より施行する。
5. この規約の一部改正は平成 9 年 4 月 20 日より施行する。
6. この規約の一部改正は平成 11 年 4 月 18 日より施行する。
7. この規約の一部改正は平成 15 年 4 月 14 日より施行する。
8. この規約の一部改正は平成 18 年 4 月 9 日より施行する。
9. この規約の一部改正は平成 19 年 4 月 8 日より施行する。
10. この規約の一部改正は平成 24 年 4 月 8 日より施行する。
11. この規約の一部改正は平成 31 年 4 月 14 日より施行する。

表彰に関する規定

1. この規定は、オホーツク地区サッカー協会（以下、「本協会」という。）に功績、功勞のあったもの、または優秀な成績をあげたものの次の2種の表彰について規定するものである。
 - (1) 表彰状
 - (2) 感謝状
2. 表彰区分は次のとおりとする。
 - (1) 表彰状
 - ① 本協会の振興に努めるとともに、本協会の発展のため長年（10年程度）尽力し、その功績が顕著なもの。
 - ② 本協会関係者および団体の事業推進に功績のあったもの。
 - ③ 本協会内に存在するチームで全国大会出場、全道大会で優勝、またはこれに準じる成績をあげたチーム。
 - ④ 本協会内に存在するチーム内の個人が道を代表する選手、役員に選ばれ顕著な活躍をしたもの。
 - (2) 感謝状
 - ① オホーツク管内の団体および個人で本協会の事業に貢献し、普及、発展のために功勞のあったもの。
 - ② 本協会に対し相当な寄付のあった団体または個人。
 - ③ その他必要と認めたもの。
3. 表彰の決定・方法は次の通りとし、記念品を添え授与する。
 - ① 本協会四役において該当者を推薦し、常任理事会において審査決定する。
 - ② 表彰は、創立記念式典において表彰する。
 - ③ 表彰状の②、③、④に該当する団体・個人の表彰は単年度とし、総会時に会長が表彰する。
4. この規定は、平成2年4月22日より実施する。

慶弔に関する規定

慶弔金については、次のとおりとする。

- 1・慶弔金については、会長、理事長及び事務局長で、その都度協議し決定する。
- 2・その他規定によって定め難い場合については、三役で協議し、常任理事会に報告をする。
- 3・この規定は、平成16年4月18日より実施する。

専門委員会に関する規定

1. オホーツク地区サッカー協会規約第21条の規定により、下記の専門委員会を設置する。
 - ① 規律・フェアプレー委員会
 - ② 審判委員会
 - ③ 技術委員会
 - ④ 第1種委員会
 - ⑤ 第2種委員会
 - ⑥ 第3種委員会
 - ⑦ 第4種委員会
 - ⑧ 女子委員会

- ⑨キッズ委員会
 - ⑩フットサル委員会
 - ⑪シニア委員会
 - ⑫情報委員会
- 2. 各委員会の規定及び役員等は、別に定める。
 - 3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

連盟に関する規定

- 1. オホーツク地区サッカー協会規約第40条の規定により、下記の連盟を設置する。
 - ①オホーツク社会人連盟
- 2. 連盟の規定及び役員等は、別に定める。
- 3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

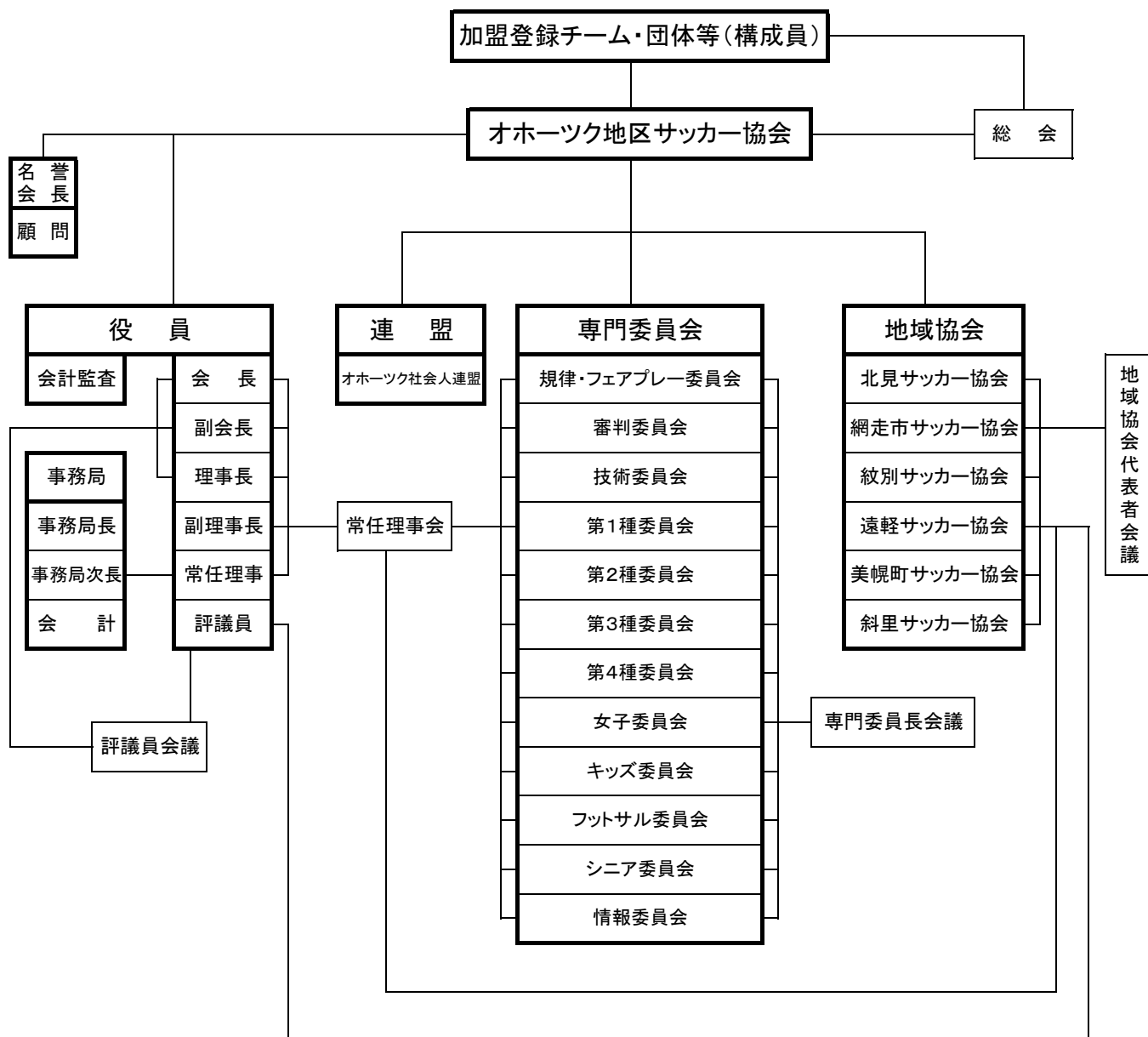
規律・フェアプレー委員会規定

- 1. オホーツク地区サッカー協会に規律・フェアプレー委員会をおく。
- 2. オホーツク地区サッカー協会において指導・処罰しなければならないような事項が発生した場合、その裁定にあたる。
- 3. 裁定は規律・フェアプレー委員の合議による。
- 4. 規律・フェアプレー委員会には、次の役員を置く。
 - ①委員長 1名（理事長）
 - ②委員 若干名（副理事長、審判委員長、事務局長、専門委員長（該当する加盟登録団体の専門委員長）
- 5. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

会計監査に関する規定

- 1. 事務局の会計監査
 - ①事務局長の確認
会計は、事務局長が指定する期日までに、領収書、帳簿及びその必要な書類を整理し、会計決算報告書を作成し、事務局長の確認を得なければならない。
 - ②会計監査
事務局長及び会計は、会計監査が指定する期日に監査を受けなければならない。
- 2. 専門委員会の会計監査
 - ①事務局長の確認
各専門委員会は、事務局長が指定する期日までに、領収書、帳簿及びその必要な書類を整理し、会計決算報告書を作成し、事務局長の確認を得なければならない。
 - ②会計監査
各専門委員会は、会計監査が指定する期日に監査を受けなければならない。
- 3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

オホーツク地区サッカー協会 組織図





さかきばら泌尿器科

〒090-0834 北見市とん田西町307-1

TEL: 0157-32-7331 Fax: 0157-25-3538

<http://www.sakakibara-hinyoukika.com/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00 ～12:00)	●	●	●	●	●	●	×
午後(14:00 ～18:00)	●	●	●	×	●	×	×

主な診療内容

- ・前立腺肥大症
- ・悪性腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎がん)
- ・膀胱機能障害(神経因性膀胱、過活動膀胱、間質性膀胱)
- ・尿路感染症(膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症)
- ・血尿、尿潜血、蛋白尿の精査
- ・尿路結石
- ・尿失禁
- ・腎機能障害、腎不全(保存期)
- ・男性機能障害(ED、男性更年期、男性不妊)
- ・小児泌尿器科(おねしょ、包茎、亀頭包皮炎、停留精巣など)

 第一工業株式会社



防水工事施工・外壁工事施工

ウレタンと金属の複合防水工法

UM工法
耐火30分認定番号FP030RF-9336
LSB工法
耐火30分認定番号FP030RF-9335

〒090-0806

北見市南町1丁目8番33号

TEL:0157-23-4155

FAX:0157-23-4156

E-mail:daiichikogyo.co.jp

<http://www.daiichikogyo.jp/>